

02 みどりを支える仕組みの指針 (グリーンマネジメント指針)

この指針は、みどりの財産を未来へ育み、多様な人々が連携してその価値を最大限に生かすための考え方を示しています。

支援体制を充実する

多様な財源の確保と運用の強化

多様な主体の連携

市の関係部署が協力し合うことや、市民・企業・行政の連携が充実することは、まち全体でみどりを支える体制づくりにつながります。

DXの活用

デジタル技術を活用することにより、効率的な公園管理や情報発信が可能になります。

みどりを使いこなす

協働の管理と魅力向上

市民や地域活動団体が主体的に係ることで、より魅力的な空間として育つ仕組みが構築されます。



多様なニーズに対応するみどりの柔軟な活用

公園ごとの利用ルールを地域の実情にあわせて検討し、柔軟な運用を可能にすることで、多様なニーズに対応する環境が生まれます。

- ① 対話の場 (ワークショップ)
- ② ルールづくり (合意形成)
- ③ 実践 (イベント開催・公園活動)
- ④ 改善

地域のニーズからルールづくりを検討 (野菜マルシェや花火遊びなど)



ワークショップで公園のルールづくり

参画の環を育む

みどりの担い手の育成と裾野拡大

プレーパークやみどりに係る講習会などは、みどりの活動に参加する人を増やすきっかけになり、新たな担い手の育成につながります。



プレーパークの風景



緑地管理の勉強会

担い手間のネットワーク構築と協働促進

活動したい市民とみどりの場所などを結びつける仕組みをつくり、交流を活発にすることで大きな参画の環が広がります。



担い手のマッチング

ネーミングライツ Park-PFI

生垣補助

プレーパーク

里山活動

みどりの講習会

ワークショップによる公園づくり

DXの活用

自然観察会

みどりのモニタリング活動

みどりの価値を学ぶ

みどりの現状把握とモニタリング

みどりの現状を正確に把握することは、科学的根拠に基づいた計画策定に生かされます。また、市民アンケート調査はニーズや満足度の把握に役立ちます。

みどりの多面的なチカラの評価と普及啓発

みどりの価値を見える化して広く普及啓発すると、みどりを守り育てる活動が促進されます。

03 あさかのみどりの魅力を楽しむ指針 (グリーンプロモーション指針)

この指針は、みどりがもたらす多面的な恵みを分かち合い、次世代へと続く持続可能な暮らし方を提案するものです。

みどりの魅力を見つけよう

体験を通じたみどりの魅力発見

公園などの空間を最大限に活用し、五感でみどりにふられる質の高いイベントが開催されると、これまでみどりに関心のなかった層にも魅力が伝わります。



農業体験



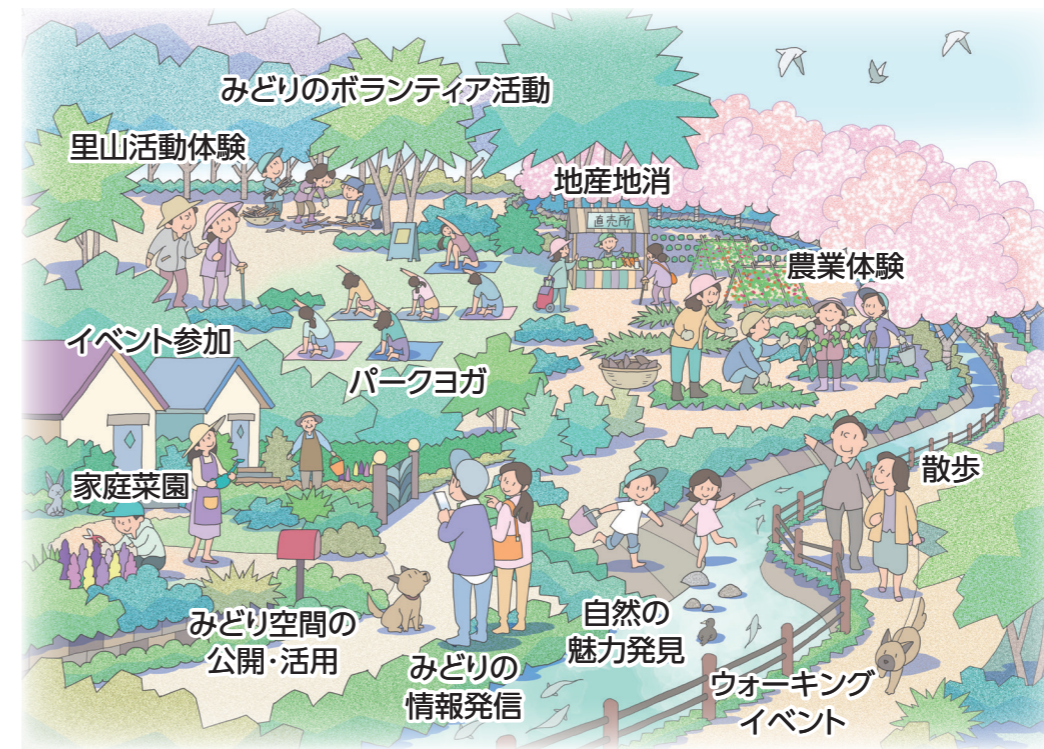
黒目川 川まつり



ウォーキングイベント

情報でみどりとつながる

情報発信の際に日常的に楽しめるコンテンツを充実させることで、情報の受け手である市民が次なる発信者となるような情報の循環が期待されます。



みどりのボランティア活動

里山活動体験

地産地消

イベント参加

パークヨガ

農業体験

家庭菜園

散歩

みどり空間の公開・活用

みどりの情報発信

自然の魅力発見

ウォーキングイベント

暮らしにみどりを取り入れよう

日常にあるみどりの楽しみ



育てる 家庭菜園



食べる 地産地消



歩く 散歩



集う イベント参加

コミュニティで支えるみどり

活動に必要な知識や技術を学べる講習会や団体間の交流は、公園サポーターや里山ボランティアなど、地域のみどりを市民が主体的に守り育てる活動の質と継続力を高めることにつながります。



道路の美化活動

共にみどりを育て未来につなげよう

個人のみどりをまちの宝へ

大学のキャンパスや寺社の境内など、民有地にある貴重なみどり空間を、所有者、地域住民、行政が連携し、地域の財産として公開・活用することは、新たな交流拠点や景観資源を創出します。個人のみどりが地域の価値を高め、ひいてはまちの魅力向上につながるという好循環が生まれます。

まち全体の価値向上

地域の魅力向上

個人のみどり

みどりの取組

みどりの将来像の実現に向け、3つの基本方針に基づく施策の柱、基本施策、具体的な取組となる個別施策を展開します。具体的な取組を進めるにあたっては、「みどりの指針」に位置づけられるみどりのチカラを理解し、その効果が十分に発揮されるよう工夫することで、みどりのチカラを上手に生かしたまちや暮らしの実現を目指します。

また、本市のみどりの課題を解決するため、「重点施策」を位置づけ、進行管理のために目標を定めています。計画目標は10年間の計画期間内で着実な実行を図るもの、将来目標は計画期間内に実行に努め、その後実現したい大きなものを掲げています。

— 基本方針 —	— 施策の柱 —	— 基本施策(★重点施策) —	— 個別施策 —	— 重点施策の目標 —		地域別取組	
				計画目標	将来目標		
基本方針1 暮らしを支え豊かにする 朝霞らしいみどりを整える	1-1 樹林地と農地の保全	(1) 樹林地等の担保性の向上★	①特別緑地保全地区の指定 ②保護地区・保護樹木の指定 ③文化財保護制度の運用 ④公有地化による樹林地等の確保 ⑤景観重要樹木の指定	特別緑地保全地区の指定拡大 約2.7ha(現況値+0.6ha)	特別緑地保全地区の指定拡大 約3.6ha(現況値+1.5ha)	内 間 木 地 域 北 部 地 域 東 部 地 域 西 部 地 域 南 部 地 域	
		(2) 良好な里山環境の維持・再生★	①里山保全活動の推進 ②里山管理ガイドラインの策定	里山管理ガイドラインの策定・運用	里山管理ガイドラインの運用による 良好な自然環境の保全		
		(3) 都市農地の保全	①生産緑地・特定生産緑地制度の運用 ②遊休農地の活用促進 ③景観作物の栽培 ④災害時の都市農地の活用				
	1-2 水辺の保全	(1) 湧水の保全★	①湧水地及び周辺環境の保全 ②雨水貯留浸透の推進		雨水貯留浸透施設等の設置推進		水循環の健全化による 湧水源の涵養
		(2) 河川の保全	①荒川近郊緑地保全区域における河川環境の保全 ②黒目川・新河岸川・越戸川の環境保全 ③朝霞調節池内の湿地環境の保全				
	1-3 公園の整備と管理	(1) 公園の整備推進★	①身近な公園の適正配置 ②基地跡地公園の整備推進 ③内間木公園の整備推進		まぼりみなみ公園の整備 内間木公園の拡張整備		基地跡地公園の整備
		(2) 公園機能の充実	①防災機能の充実 ②バリアフリー・インクルーシブデザインの推進				
(3) 公園の維持管理の充実★		①施設の維持管理の充実 ②維持管理性と美観を保つ公園等植栽管理指針の策定		公園等植栽管理指針の策定・運用	公園等植栽管理指針の運用による 質の高い空間の創出		
1-4 道路・河川のみどりの育成	(1) 街路樹・並木の整備と管理	①持続的な植栽のあり方に関する検討 ②街路樹の適正な維持管理					
	(2) ウォーカブルな空間形成★	①河川沿いの散策路・親水広場の整備・管理 ②歩道のネットワーク化と管理 ③休息や健康づくりの場の整備		人中心の北朝霞駅 北口広場の転換	朝霞駅周辺及び北朝霞・朝霞台駅周辺の ウォーカブルな空間形成		
1-5 公共施設・民有地のみどりの育成	(1) 公共施設のみどりの整備・管理	①公共施設の緑化と管理 ②公共施設の植栽管理指針の策定					
	(2) 民有地のみどりの整備促進	①緑化支援制度の運用 ②まちづくりの制度を活用したみどりの確保					
基本方針2 みどりを支える 仕組みや担い手を 育て・広げ・つなげる	2-1 みどりの担い手の育成と連携	(1) みどりの担い手の育成	①プレーパークの推進 ②みどりの講習会等の実施 ③環境学習の実施 ④教育分野における農業体験の促進 ⑤食育の推進				
		(2) 担い手の連携の拡充★	①担い手のマッチング ②ボランティア活動団体の交流の促進 ③民間企業等の参画の促進 ④農の担い手の育成	Park-PFI事業者による 内間木公園の運営	様々な主体との連携による 基地跡地公園の運営		
	2-2 みどりをしなやかに使う 仕組みづくり	(1) 公園等の管理を通じたまちづくり	①公園サポーター制度の推進 ②市民や活動団体による朝霞の森の管理運営 ③みどりのリサイクルの推進				
		(2) 多様なニーズに対応するみどりの確保	①市民農園の推進 ②市民緑地制度等の活用 ③公園ごとの利用ルールづくり				
2-3 みどりの質の向上を誘導し 評価する仕組みづくり	(1) みどりのモニタリングの実施	①グリーンインフラの実態調査の実施 ②市民協働の生き物調査による生物データベースの整備 ③みどりの市民アンケート調査の実施					
	(2) みどりの普及啓発の推進	①グリーンインフラの多面的効用の評価と公表 ②グリーンインフラの多面的効用に資する緑化指導 ③地域社会に貢献するみどりづくりの促進					
2-4 みどりの支援体制の強化	(1) 財源の確保と活用★	①補助金等の活用 ②多様な財源の活用		機能維持増進事業の活用	多様な手法による 財源の確保		
	(2) みどり・公園分野におけるDXの推進★	①公園管理におけるDXの推進 ②ウェブを活用したグリーンインフラの普及啓発		公園台帳のデジタル化	DXの推進による 公園サービスの拡充		
基本方針3 みどりのある 暮らしを楽しむ	3-1 みどりの シティプロモーションの 展開	(1) みどりにふれ楽しめるイベントの開催	①みどり空間を活用したイベントの開催 ②里山環境の活用 ③農を通じた交流の場づくり				
		(2) 情報発信の強化と充実★	①みどりの情報発信 ②市民イベント情報の集約と発信		自ら情報発信できる オンラインプラットフォームの導入	市民が主体となった みどりの情報発信	
3-2 みどりのある 暮らしの実践		(1) みどりを楽しむ★	①家庭での緑化や菜園づくり ②農産物直売施設等の利用 ③地産地消の実践 ④みどりを生かした健康づくり ⑤みどりのイベントへの参加	グリーントレイルマップの更新	みどり資源を生かした 健康増進の場づくり		
		(2) みどりのボランティア活動への参加	①みどりのボランティア活動への参加 ②みどりのリサイクルへの参加 ③みどりに係る講習会への参加				
		(3) みどりの交流の拡大	①民間のみどりの公開 ②SNSを活用したみどりの交流				